

# ブリタニカ国際年鑑

## 2023

待望の  
デジタル版  
出来！

電子書籍版



### グローバル時代に生きる力を身につける未来への指針

2022年1月1日から12月31日までの1年間に世界各地で起こった出来事を収録。国際情勢と地域の理解に役立つ解説と統計データで2022年の世界と日本の動静がつぶさにわかります。紙書籍版を忠実に再現しながら、カラー写真、カラー図表を大幅に増やし、電子書籍ならではの見やすさ、迫力を実現しました。

# ブリタニカ国際年鑑

2023年版

## 正確なデータと的確な解説で激動の2022年を振り返る。

2022年の世界の出来事や注目された人物を、政治経済から科学、芸術、スポーツまで幅広く収録しています。〈特別インタビュー〉として、2021年のショパンコンクールで2位に輝いたピアニストの反田恭平氏にコンクール挑戦への思いや新たに思い描く夢などについて伺いました。〈特別レポート〉では、ロシアによるウクライナ軍事侵攻、北京冬季オリンピック/パラリンピック、サッカーのFIFAワールドカップについてそれぞれ解説します。3年連続となる企画「未来の創造者たち」では、「政治・社会活動」「音楽・舞踊」の分野で活躍する40歳以下の40人を紹介します。約200の国と地域の動向を把握できる「世界の国々・地域」には、「アジア」「アフリカ」「オセアニア」「北アメリカ」「中東」「日本」「ヨーロッパ」「ラテンアメリカ」「ロシア・NIS」の9つの地域情勢についての専門家による解説を記載しました。1975年から毎年刊行されている『ブリタニカ国際年鑑』は、資料としても読み物としても、長年にわたり多くの読者に支持されております。

### 明日へのメッセージ

自分の夢をどれだけ愛せるか

反田恭平（ピアニスト）

2021年10月開催の第18回フレデリック・ショパン国際ピアノコンクール（以下「ショパンコンクール」）で日本人51年ぶりとなる2位を獲得した反田恭平氏。すでに、クラシック音楽ファンの間で「最高のチャップがまだない」ピアニストとして広く知れ渡り、その才覚も表現力も高く評価されていましたが、コンクールでの快挙は彼にとって「命の人」に押し上げた。

『ブリタニカ国際年鑑』では、コンクールから1年以上を経た反田恭平に、現在の心境や活動、新たな決意や目標、さらにこれから後輩たちへのメッセージ、音楽への強い想いを語ってもらいました。

（インタビューは2022年12月13日に当社にて収録）

ポジティブに、かつ客観的にものごとを見つめる

——ショパンコンクールから1年がたちました。いまもふとした瞬間に、そのときの胸騒ぎを思い浮かべることはありますか。

そうですね。あの2021年10月の出来事は、僕にとって一生忘れられない経験だったと思いますし、ファンの方も頑張りきてくれたと思います。ピアノストになることを対して、お父さんは反対されましたね。



反田恭平、2021年ショパンコンクール（第18回）

（撮影：アキラ・タカシ）

（撮影：アキラ・タカシ）